



## 学校教育目標

夢と誇りをもち  
仲間と共に高め合い  
未来を拓く生徒の育成

## 目指す生徒像

心豊かで、社会性のある生徒  
自ら学び、共に高め合う生徒  
心身ともに明るく健康な生徒

## 校 訓

やさしく(徳)  
かしこく(知)  
たくましく(体)

## 生徒信条

やればできる  
自ら求めて  
一步でも前進



## ◆ 心に響く歌声 感動をありがとう ◆

9月18日(金)、山内町農村環境改善センターをお借りして、合唱コンクールを開催しました。短い期間で、クラスの自由曲、全校合唱曲の2つを練習しなければならなかったため、「本番は大丈夫だろうか」と仕上がりに不安を感じる場面もありました。しかし、学校の音楽室や体育館とは違うステージで、生徒たちはどのような歌声を響かせてくれるのだろうと、楽しみにして本番当日を迎えました。

トップバッターを務めたのは、1年1組でした。初めての合唱ということもあり、きっと大きな緊張があったことと思います。それでも、ステージに立った生徒たちは、堂々とした大きな歌声をホールいっぱいに響かせてくれました。その歌声は、聴いている人の心を動かすとともに、出番を控える生徒たちに「自分たちも頑張ろう」と思わせてくれるような、素晴らしいスタートとなりました。

その後の各学級も、それぞれの曲に思いを込め、これまでの練習の成果を存分に発揮しました。歌声の大きさだけではなく、声をそろえること、強弱をつけること、互いの声を聴きながら一つの音楽をつくることなど、各学級がそれぞれの方法で「自分たちの合唱」を表現してくれました。

そして、なんといっても圧巻だったのは3年生です。奇しくも、3年生の2つの学級は、同じ「手紙～拝啓 十五の君へ～」を選曲しました。曲の中で強弱を巧みに変化させながら、歌詞に込められた思いを丁寧に表現する姿に、さすが3年生という貫禄を感じました。

私は審査員として一つ一つの合唱を聴きましたが、どの学級も本当に素晴らしく、甲乙をつけることが難しかったです。結果として順位はつきましたが、ステージに立ち、仲間と声を合わせ、最後まで歌い切った一人一人の姿こそ、この合唱コンクールで得た大切な成果だったと思います。

歌声は、練習した時間や仲間との関わり、そして「みんなで一つのものをつくり上げたい」という思いが重なって、初めて人の心に届くものなのだと思います。この日、ホールいっぱいに響いた生徒たちの歌声は、まさにそのことを証明してくれました。素晴らしい歌声と感動を届けてくれた生徒の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。

